

## 毎年恒例新入生紹介!

—研究室に新メンバー!—

The Annual New Member Introduction! — The new comers to UD Lab! —

text\_koshimura

今年度も都市デザイン研究室に新しいメンバーがやってきました!博士課程1名、修士課程4名、研究生1名の顔ぶれとなります。少数精鋭の修士1年はどのプロジェクトに挑戦するか、その行方が気になります。



### M1 瀬川 明日奈

1. 東京都/慶應湘南藤沢高等部/慶應大学
2. サッカー、読書
3. パテイン、ヴェネチア、田根
4. 頑張り過ぎないけれど諦めない
5. SFC にいる中島先生から伺って
6. 自分なりに興味あることを見つけて追究したいと思います。



### M1 高梨 遼太郎

1. 東京都/渋谷教育学園渋谷高等学校/東京大学
2. アメフト
3. ボストン/倉敷
4. 一日一善
5. 人に惹かれて
6. 広い視野を持てるよう、多方面に頑張っていきたいです。



### M1 道喜 開視

1. 千葉県柏市/江戸川学園取手高校/東京大学
2. サッカー
3. バンクーバー・シエナ/エジプト
4. 中庸
5. 勢い(去年)と流れ(今年)
6. 楽しみたいです!



### Research student Ringenson Katarina Irma Fredrika

1. スウェーデン、ストックホルム
2. 読書
3. 北海道、サンフランシスコ
4. Friskt Vågat, Hälften vunnet!
5. A wish to broaden my perspectives
6. I want to work hard together with others, to find ways for people to live well now and in the future.



### D2 李 薈 (Li Hui)

1. 中国、瀋陽市/名古屋大学
2. 旅行、切手収集、囲碁
3. 北京、京都
4. なんとかなる
5. やりたいことにこだわって
6. 新しく深い認識を持つようにしたいです。



### M1 Charles lau kwok chung

昨年研究生として都市デザイン研究室に来た Charles は修士1年に進学しました。

#### 質問事項

1. 出身
2. 趣味・特技
3. 好きなまち/行ってみたいまち
4. 座右の銘
5. 研究室に来たきっかけ
6. 研究室生活に向けた意気込み

## 柏・空間計画研 新 M1

柏の葉キャンパスの空間計画研究室にも新メンバーとして修士1年が2人加わりました。



### M1 中野 卓

1. 千葉県/県立船橋/一橋大学社会学部
2. 弁当男子として食費節約や摂取栄養素を考えること
3. ヴェネツィア/ルッカ、ペルージャ、オスロ、イスタンブル
4. 「真面目に不真面目」遊びにも手を抜きません。
5. ソフト面だけでなく、ハード面の経験と知識と実践を積みたかったから。
6. 研究環境の違いに戸惑っていますが、他の人にはできない別分野の視点から貢献したいです。



### M1 本間 百合

1. 川崎市/東京学芸大学附属高校/東京工業大学建築学科
2. バドミントン/料理
3. バルセロナ
5. 建築意匠を大学で学ぶうちに、それらが作られるバックグラウンドについて学びたくなったから。
6. 柏の葉や都市デザイン研でのさまざまな活動から、興味を深めていきたいです。

## 2013年度マガジン編集委員が決定

2013年度の都市デザイン研マガジンは昨年度に引き続き福士(編集長)、柏原、越村、萩原と、新たに瀬川、高梨、道喜、原をメンバーに加えた計8名の体制で発行して参ります。今年度も御愛読のほどよろしくお願い致します。



## OB・OGめぐり第13弾！

## The news from OB・OG of UD Lab. Vol.13！

都市デザイン研究室のOB・OGの方々に、卒業後の仕事や活動に関して寄稿して頂く企画です。13回目の今回は、平成15年に修了されたJR東日本・中村元さんです。

私は現在、東京支社総務部企画室という部署で中野駅等の駅改良や自由通路整備等に伴う自治体との協議・調整を担当しています。

駅は街の玄関口としての公共的役割、さらには安全性や利便性を追求することが重要になりますが、同時に民間企業として適切な利益を確保する必要があります。しかし、街づくりは10年単位で戦略を描く必要がありますし、駅改良工事は鉄道を止めずに行う必要があるため、多大な時間と費用がかかります。実際、中野駅でも既に構想の検討を始めてから約10年が過ぎていますが、未だその一部が完成しただけで、ようやく折り返し地点という段階です。

駅改良計画を進めるには、利益という一つの尺度だけではなく、多角的・長期的な検証をしつつ、自治体と協議・調整しながら進める必要があるため、公共交通を担う鉄道会社ならではの難しさを伴います。しかし、その影響力が大きい分、実現した時の達成感も大きく、自らが関わった改良計画が実際に出来上がっていく現場を見ると本当にわくわくします。

都市工で学んできた鳥瞰的な視野や長期的・多角的なまちづくりの視点が活かせますので、当社に興味のある方は気軽にご連絡ください！



▲中野駅北口（改良前）



▲中野駅北口（改良後）

## プロジェクト報告

大槌 Otsuchi-project  
プロジェクト

text\_segawa

4月14日（日）と15日（月）の2日間、窪田先生、黒瀬先生とともにM2萩原、M1瀬川・道喜、B4羽野が大槌PJの現地調査に参加しました。町方地区のコンクリートの基礎だけが残された海辺に立つと、今もなお癒えていない被災地の傷跡と復興への道のりの険しさを実感しました。

はじめに復興館や湧水、町役場などを見学した後、赤浜のまちづくり懇談会に参加しました。そこでは住民の方々の自分たちの町を再建しようという強い思いとともに、住民の当事者意識の強さを目の当たりにしました。

2日目に地元の方に震災当時の避難ルートと水汲みに利用していたルートを案内していただき、被災者の方々がどのような心境でこの道を辿ったのか、様々な想像を巡らせつつ、今後の避難計画に少しでも反映できればと思いました。



▲赤浜の湧水を案内していただく



▲赤浜まちづくり懇談会の様子

大槌PJが年度初の現地調査を実施しました。M1瀬川から初めて大槌を訪れた感想と、M2萩原からPJ活動内容の報告です。

text\_hagiwara

新年度初となった今回の大槌PJ調査では、主に昨年度から行ってきた赤浜地区避難行動調査のフォローアップを行いました。地区の方と新たな防災・避難体制について話し合った他、地区の皆さんの証言をもとに、津波や火事からの避難に利用された山道の踏査や、水の確保に役立った沢水の調査を行いました。こうした山道等は、地域の人達が子供の頃から遊び親しんでいたからこそ把握されていたもので、如何にその存在を地域で共有、あるいは管理するかが重要になると感じました。

また、吉里吉里地区では、地元の方と今後の活動について意見交換を行いました。今後の復興の中で、昨年度行った、まちの生活風景に関するヒアリングを生かす方法や、地域を支えてきた商店の再生への取り組みについて、現在の実情を踏まえてご意見いただき、今後の活動に向けて大変参考になりました。



▲赤浜の海岸と蓬萊島



▲道無き道を踏査中

## 4月・5月の予定

## Information

4月26日	御茶ノ水ソラシティ見学会 POPS調査
5月6日-9日	第36回レモン展（詳しくは <a href="http://goo.gl/YMAEZ">http://goo.gl/YMAEZ</a> ）
5月9日	第2回研究会会議+新入生歓迎パーティー
5月10日	佐原PJ現地調査
5月11日 13:00-	大谷幸夫先生を偲ぶ会 @ 東京大学弥生講堂一条ホール
5月28日	第3回研究会会議

## \* 編集後記

越村 高至

皆さん花粉症は大丈夫ですか？私の周りでも今年苦しそうにしている人が結構いました。私も重症ではないものの、春のスギ花粉と秋の花粉（おそらくブタクサのやつ）を持っており、鼻中心にダメージを受けます。そのため毎年季節の花が咲く前に自分の鼻で季節の移ろいを感じることが出来ます。今年花粉のピークは過ぎたと思っていたのですが、ここ数日何か再びきていて、調べてみたら初夏からイネ科の花粉もあるんですね！調べていて色々な植物を知ることが出来ました。※なお、上のチューリップはこの文章の内容とは特に関係ありません。

